

●株主の皆様へ●

# 第60期 報告書

2019年3月1日 ▶ 2020年2月29日

# Plenus

証券コード：9945

株式会社プレナス



代表取締役社長 塩井 辰男

### ● 第60期(2020年2月期)連結業績サマリー

	実績	前期比
売上高	1,495 億円	△ 2.8%
売上原価	743 億円	△ 2.8%
売上総利益	751 億円	△ 2.9%
販売費及び一般管理費	748 億円	△ 4.0%
営業利益	348 百万円	—
経常利益	729 百万円	+409.3%
親会社株主に帰属する当期純損失	2,934 百万円	—
当社グループ店舗数	3,200 店舗	△ 203 店舗
国内	2,941 店舗	△ 220 店舗
海外	259 店舗	+17 店舗

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの60期(2020年2月期)の業績と主な取り組みについてご報告いたします。

### 当期の経営概況と業績

当期における外食産業は、原材料価格や物流費、人手不足にともなう人件費の上昇に加え、大型台風の上陸による天候不順の影響や、消費税率の引き上げによる消費マインドの変化など、引き続き厳しい事業環境が続きました。

こうした状況の中、当社グループは、お客様の満足度向上に努めるべく、商品力や店舗販売力の強化を目指すと共に、中長期での安定的な成長を見据え、FC化の推進や海外事業の強化と同時に、当社グループ工場の活用による内製化の推進によって、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

また、ほっともっと事業におきましては、人件費等の店舗運営コスト上昇により売上を伸ばしても加盟店への移管が見込めない直営店190店舗の退店を行い、収益の改善を図りました。

当期の連結業績につきましては、売上高は、前述の退店や既存店売上高が前期実績を下回ったことが要因で前期実績を下回りました。利益面につきましては、前述の影響があったものの効率的なプロモーション展開や店舗諸経費の改善等によって、営業利益は黒字に転換し、経常利益は前期実績を上回りました。また、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、店舗の固定資産に係る減損損失を計上したことが主な要因であります。

### 今後の取り組みについて

当社グループは既存ブランドの成長と新市場のシェア獲得を成長戦略として継続的な企業価値の向上を目指してまいります。

既存ブランドの成長につきましては、当社グループ工場  
で製造した商材を活用したキャンペーン展開や業態別に  
ターゲットを明確にした販売戦略、スマホアプリ等を活用  
したデジタルマーケティングによって店頭売上の拡大に取り  
組むとともに、引き続きFC化を推進することで事業構  
造の転換に取り組んでまいります。

新市場のシェア獲得につきましては、従来の「ほっともっ  
と」の魅力に新ジャンルのグリルメニューを追加し、女性  
層や若年層の獲得を目指す「ほっともっとグリル」や自動  
調理器の導入によって従来よりも高い生産性を実現した都  
市型タイプの「やよい軒」など、既存ブランドの新規モデ  
ル店舗での出店や、低価格、高回転のメニューを導入した  
新規事業「アゲルヤ」の事業モデルを構築し、都市部のマー  
ケット獲得のための基盤づくりを進めてまいります。

また、クルーの採用や育成に注力し従業員満足度向上を  
図ることにより店舗の販売力を強化するとともに、新規厨  
房機器やシステムへの投資を積極的に推進することで店舗  
オペレーションを改善し、店舗販売力を強化してまいりま  
す。さらに、「ほっともっと」では、デリバリーサービス導  
入店舗の拡大やおまとめ注文への対応強化、キャッシュレ  
ス決済の導入を進めるなど多様化するニーズに対応するこ  
とでお客様の満足度向上に努めてまいります。

新規出店につきましては、新型コロナウイルス感染症の  
影響が拡大・長期化する中での積極的な投資はリスクが高  
く、出店を推進できる時期に向けて既存店舗の体制強化に  
努めてまいります。国内におきましては、出店数 16 店舗  
を計画しております。既存ブランドの新モデル店舗や都市  
部ニーズに対応した新業態店舗を中心とした出店戦略を推  
進すると同時に、フランチャイズ展開も推進してまいりま  
す。また、海外におきまして、前述の影響により既存店の  
収益力強化に集中するため、出店数 1 店舗を計画しており  
ます。

当社グループ工場におきましては、製造商材数や製造量  
が着実に増加するなど、安定的に稼働しております。内製

化商材を活用したキャンペーンの実施など、商材原価低減  
による更なる収益性の向上にむけて、当社グループ工場の  
積極的な活用による稼働率の向上及び安定稼働を目指して  
まいります。

なお、海外事業につきましては、引き続きマーケットに  
応じた売上向上のための施策の実行、食材の現地化による  
店舗原価低減、出店の推進等により、事業の黒字化を目指  
してまいります。

## 第 61 期 (2021 年 2 月期) の連結業績予想

通期の連結業績の見通しにつきましては、新型コロナウ  
イルス感染症の影響の拡大に伴い、収束時期の見通しが困  
難であることから現時点での売上高の適正かつ合理的な算  
定が困難であるため、開示をしておりません。今後の動向  
を見極めながら、適正かつ合理的な算定が可能となった時  
点で速やかに開示する予定です。

## 配当金について

当社は、継続的かつ安定的な配当を実施することを前提  
に、明確な基準に基づく配分の実施を基本方針としており  
ます。具体的には、年間配当 60 円または、年間配当性向  
50% (連結ベースでの 1 株あたり当期純利益) を達成する  
金額のいずれか高い額をお支払いすることとしております。

上記方針に基づき、第 60 期の配当金につきましては、  
1 株あたり 60 円 (内、中間配当金 30 円) とさせていただきます。

なお、第 61 期につきましては、現時点での連結業績の  
算定が困難であるため、非開示にさせていただきたいと存  
じます。連結業績の算定が可能となった時点で速やかに開  
示する予定です。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう  
お願い申し上げます。

## ほっともっと事業



売上高

**1,059億 34百万円**前期比  $\Delta$  3.7%

営業利益

**3億 2百万円**前期営業損失  
**8億 86百万円**

## 当期の業績について

『かつ丼フェア』や『新春初夢ごちそうフェア』など当社グループ工場で製造した商材を活用したキャンペーンの実施や、1日に必要とされる野菜量の1/3を摂ることができる『中華あんかけごはん』を販売するなど、付加価値を高めた商品でのプロモーション展開や店舗販売力の強化でお客様の更なる満足度向上に注力するとともに、人件費等の店舗運営コスト上昇により売上を伸ばしても加盟店への移管が見込めない直営店190店舗の退店を行い、収益の改善を図りました。

当期の業績につきましては、売上高は前述の影響や既存店売上高の減少が要因で、前期実績を下回りました。利益面につきましては、前述の影響があったものの、効率的なプロモーション展開や店舗諸経費の改善等によって黒字に転換しました。

## 今後の取り組みについて

内製化商品を活用したキャンペーン展開に加え、ライトユーザーをターゲットとした商品や販促を強化してまいります。また、デリバリーサービス導入店舗の拡大やおまとめ注文の強化等、多様化するニーズに対応することでお客様の満足度向上に努めると共に、引き続きFC化を推進することで事業構造の転換に取り組んでまいります。

## やよい軒事業



売上高

**304億 73百万円**前期比  $\Delta$  2.2%

営業利益

**8億 96百万円**前期比  $\Delta$  30.8%

## 当期の業績について

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、『すき焼き定食牛肉増量キャンペーン』など当社グループ工場で製造した商材を活用したキャンペーンの実施や、痺れる辛さがクセになる『四川麻婆豆腐とから揚げの定食』を提供することで、引き続きお客様の幅広いニーズへの対応を図りました。また、「ユニットFC制度」を利用して新規オーナーの獲得を積極的に行うなど、FC化の推進に取り組みました。

当期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少が要因で、前期実績を下回りました。営業利益につきましては、店舗諸経費の改善に取り組んだものの、既存店売上高の減少や原価率の上昇等によって前期実績を下回りました。

## 今後の取り組みについて

競合との差別化を図った商品やミドル・ライトユーザー向けの販促の展開と、従来のヘビーユーザー向けのキャンペーン施策を並行して実施することによって幅広いお客様の満足度の向上を目指してまいります。また、引き続きFC化を推進することで事業構造の転換に取り組んでまいります。

## MKレストラン事業



売上構成比  
**2.2%**

売上高

**33億8百万円**

前期比  $\triangle$  3.8%



営業損失

**3億32百万円**

前期営業損失  
55百万円



## 当期の業績について

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃えるなど、商品力の強化に努めました。また、不採算店舗6店舗の退店を行い、収益性の改善を図りました。

当期の業績につきましては、売上高は、既存店売上高の減少により、前期実績を下回りました。利益面につきましては、主に前述の影響やリブランディング等に伴う販売促進費の増加によって、前期実績を下回りました。

## 海外事業



売上構成比  
**2.7%**

売上高

**40億45百万円**

前期比 +5.9%



営業損失

**5億68百万円**

前期営業損失  
6億78百万円



## 当期の業績について

海外事業につきましては、マーケットに応じた売上向上施策の実行、食材の現地化による店舗原価低減、出店の推進等により、事業の黒字化を目指しました。

当期の業績につきましては、売上高は前期実績を上回りました。利益面につきましては、前期実績から赤字幅が縮小しました。

## その他



売上構成比  
**3.9%**

売上高

**58億9百万円**

前期比 +6.6%



営業利益

**98百万円**

前期営業損失  
1億25百万円



## 当期の業績について

宮島醤油フレーバー(株)は、調味料・加工食品のOEMを主な事業としております。また、当社グループ店舗で使用する調味料等の開発も行っております。

当期の業績につきましては、売上高は前期実績を上回りました。利益面につきましては、のれん代の償却があったものの、生産量が増加したことで黒字に転換しました。なお、10月1日に連結子会社の(株)フーディフレーバーを吸収合併しております。



『海鮮えび天丼』4商品が対象  
えび天1本増量キャンペーン

2019年11月1日～14日

「ほっともっと」は、“店内調理による手づくり”を特長とした商品を提供することにより、競合との差別化を図っております。

自社工場生産した商品を活用したキャンペーンに加え、『ローストビーフ丼』など、新商品の提供にも積極的に取り組みました。



うまさ“三味一体”  
『ローストビーフ丼』

2019年12月11日発売



『ロースかつ丼』4種が特別価格!  
かつ丼フェア

2020年2月21日～3月1日



ザクザクの衣に濃厚な香味ダレ  
『やみつき油淋鶏定食』

2019年10月1日発売

「やよい軒」は、日本人の主食である炊きたてのご飯を中心に、素材や手づくり感にこだわりながら、みそ汁、おかず、副菜等を一つのお膳にバランスよくまとめた『定食』を、お手頃価格で提供しております。

『やみつき油淋鶏定食』など、ターゲットをより明確にした商品を提供しました。



花椒のシビれる辛さ!  
『四川麻婆豆腐とから揚げの定食』

2020年1月7日発売



いつもありがとう! キャンペーン  
人気の4定食 100円引

2020年2月3日～11日

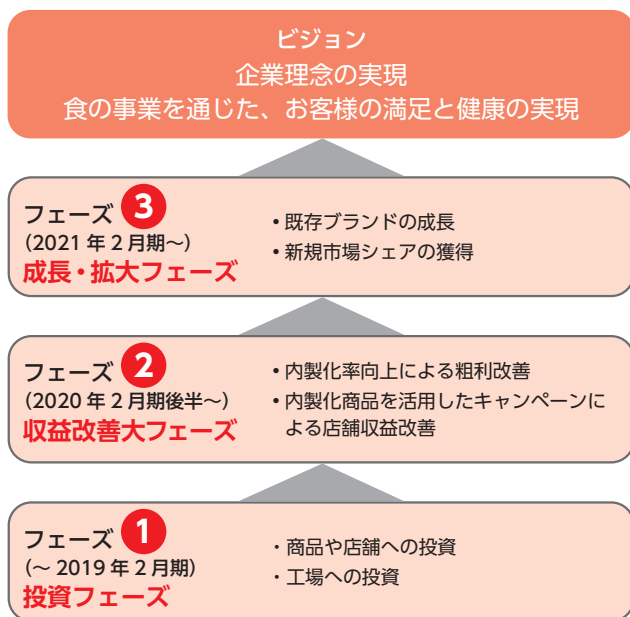


## プレナスグループの成長戦略

当社グループは、お客様の満足と健康を実現し、人々に笑顔と感動をお届けし続けるよう邁進しております。

当社グループは、2019年2月までにお客様に満足いただけるよう商品や店舗力の強化を行いました。また、食品総合工場を建設するなど工場に総額約120億円の投資を行いました。その投資によって、自社工場で製造した商品数が増加するだけでなく、品質向上やボリュームアップした付加価値の高い商品の提供が可能となりました。現在では、2019年10月の「かつ丼フェア」など、より魅力的なキャンペーンを継続的に実施することで店舗収益の改善が可能となっております。

2021年2月期は自社工場で製造した商品の提供による収益改善によって、さらなる既存ブランドの成長と、新規市場シェアの獲得を目指してまいります。



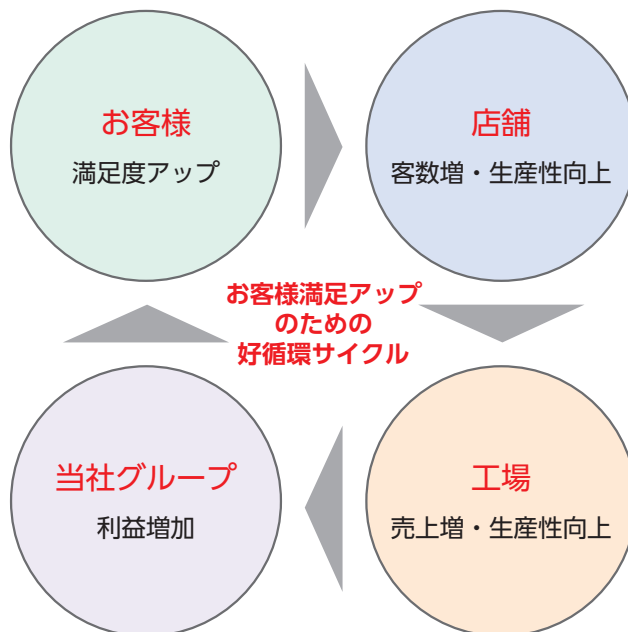
## お客様満足アップのための好循環サイクル

当社グループの成長に向けて、引き続きお客様満足度アップのための好循環サイクルを回し続けていきます。

その上で、さらに当社グループの成長を加速させるために、2021年2月期は既存ブランドの成長と新規市場シェアの獲得の実現に取り組んでまいります。

まず、既存店売上の底上げを図ることが、工場の生産量増加に最も効果的です。お客様のニーズを的確にくみ取った商品の開発やキャンペーンなどを実施することで既存ブランドを成長させていきます。

次に、さらなる成長には新規出店が欠かせません。また、既存ブランドにとらわれない商品や店舗形態の検討も必要です。当社グループは、自社工場のメリットを最大化できるように、新しい事業にもチャレンジしてまいります。



## ほっともっと デリバリーサービス拡大

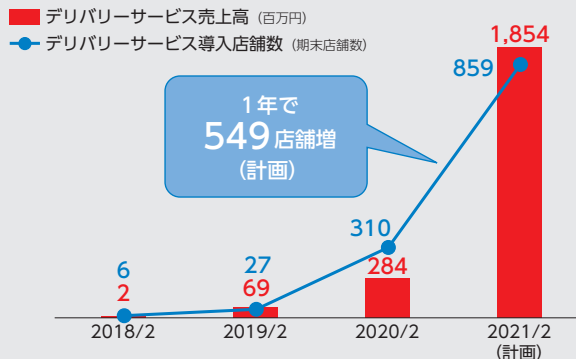
「ほっともっと」では、一部店舗におきまして、デリバリー専門会社の「デリバリーサービス」を展開しております。「デリバリーサービス」とは、お客様がデリバリー専門会社のサイトよりオンラインで注文した商品を店舗で受注・調理し、専門の配達員が商品をピックアップしてお届けするサービスです。

このたび、商品宅配市場規模が年々拡大傾向にあるなか、より多くのお客様にもっと手軽に、もっと便利にお弁当をお届けするため、デリバリーサービス専門の「出前館」や「UberEats」と提携し、デリバリーサービスの導入エリアを拡大することで、2020年2月末までに全国310店舗を展開しています。

今後も、順次デリバリーサービス導入店舗を拡大し、2021年2月末には全国859店舗の展開を目指してまいります。

「ほっともっと」は食べることの大切さ、楽しさ、そして毎日の食事から生まれるすこやかな生活を考えています。これからもお客様一人ひとりに「おいしさ」と「健康」をお届けし、皆様の体と心の元気を支える食づくりを目指してまいります。

### 〔デリバリーサービス導入店舗の状況〕



## やよい軒 アプリ会員募集中！

### 毎月のお楽しみ！ おトクなクーポン配信

さまざまな会員限定クーポンをプレゼント。毎月もれなく、アプリに届きます。



### お米メーターを貯めて クーポン GET!

100粒になると、おトクなクーポンがもらえます。3つの方法から貯められます。まずはプロフィール登録で50粒GET！



### さらに、「便利なコンテンツ」も充実！

- ニュース
- メニュー検索
- 店舗検索

### 今ならうれしい入会特典付き！

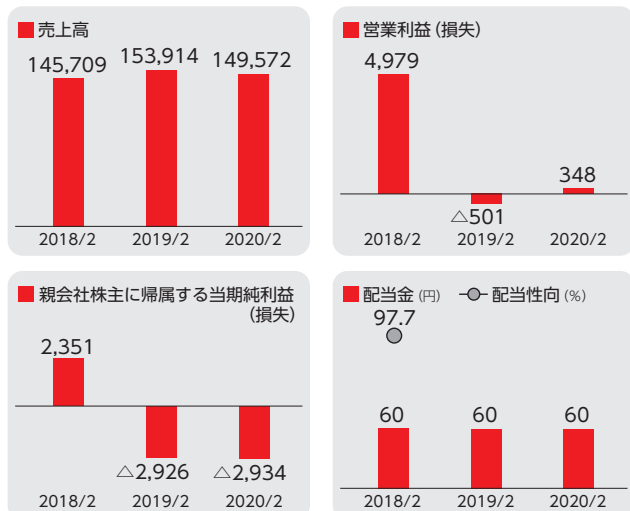


やよい軒公式 HP : [https://www.yayoiken.com/mobile\\_apps/](https://www.yayoiken.com/mobile_apps/)



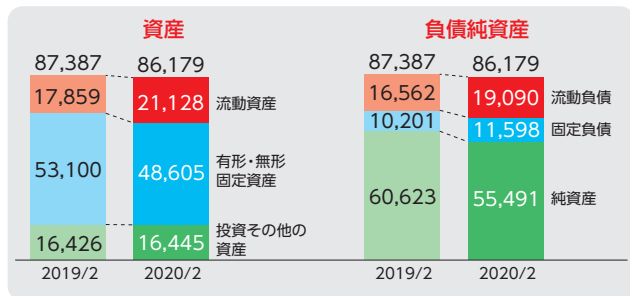
## 連結財務データ

### 連結業績の推移 (百万円)

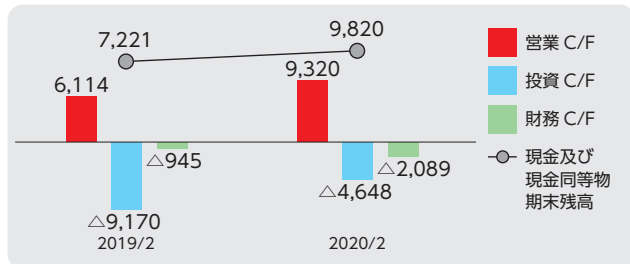


※2019/2、2020/2の連結ベースでの配当性向は1株あたりの当期純利益がマイナスであるため記載しておりません。

### 連結貸借対照表の概要 (百万円)



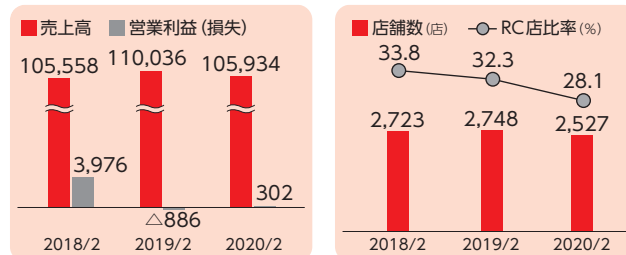
### 連結キャッシュ・フローの推移 (百万円)



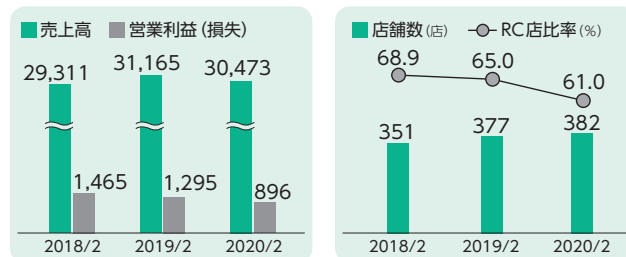
## セグメント別業績データ

### セグメント業績の推移 (百万円)

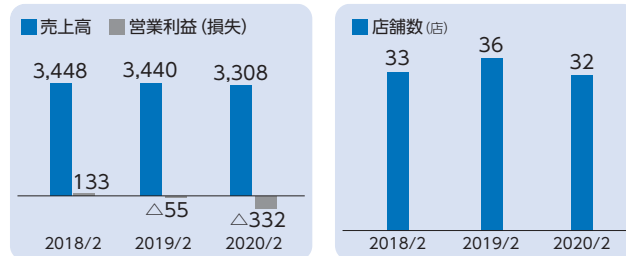
#### ほっともっと事業



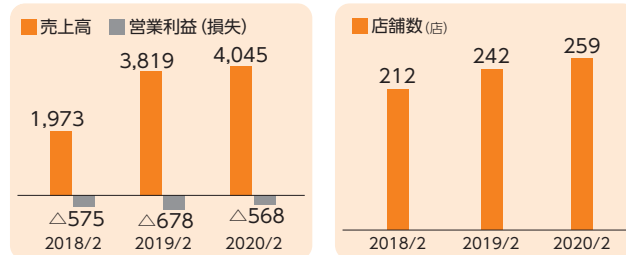
#### やよい軒事業



#### MKレストラン事業



#### 海外事業



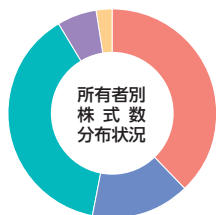
**会社概要** (2020年2月29日現在)

商号 株式会社プレナス (英文名 PLENUS Co., Ltd.)  
 創業 1960年3月  
 設立 1976年11月  
 資本金 34億61百万円  
 福岡本社 福岡県福岡市博多区上牟田一丁目19番21号  
 東京本社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号  
 従業員数 1,239名  
 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は5,890名(1日8時間換算)であります。

**株式の状況** (2020年2月29日現在)

発行可能株式総数 ..... 92,568千株  
 発行済株式の総数 ..... 44,392千株  
 株主総数 ..... 64,935名

株式数分布状況



	株式数(千株)	構成比率(%)
個人・その他*	16,785	37.8
金融機関	6,801	15.3
その他国内法人	16,979	38.2
外国法人等	2,770	6.2
証券会社	1,055	2.4

※個人・その他には、自己名義株式6,064千株(13.7%)を含んでおります。

**グループ会社** (2020年2月29日現在)

【国内】(子会社) (株) プレナス・エムケイ  
 (株) プレナスフーズ  
 (株) プレナスワークサービス\*  
 宮島醤油フレーバー(株)  
 (関連会社) (株) 九州トヨー

【海外】(子会社) 北京好味道餐飲管理有限公司(中国)  
 PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)  
 臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)  
 Plenus, Inc.(米国)  
 Plenus Global Pte. Ltd.(シンガポール)  
 BayPOS, Inc.(米国)  
 YAYOI AUSTRALIA PTY.LTD.(オーストラリア)  
 (関連会社) PLENUS & MK PTE. LTD.(シンガポール)  
 YK Food Service Co., Ltd.(韓国)\*  
 PLENUS & MK MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア)\*  
 威海東源食品有限公司(中国)

※連結の範囲に含めない関係会社

**株主優待制度について**

当社の株主優待制度は、「ほっともっと」「やよい軒」「MK レストラン」「アゲルヤ」で「株主お買物優待券」をご利用いただける制度です。当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日の株主名簿に記載、または記録された100株(1単元)以上を1年以上継続保有\*されている株主様を対象といたします。

※1年以上継続保有とは、「当年2月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同じ株主番号で前年の2月末日、8月末日に記載、または記録されていること」といたします。

※株主名簿に記載されている株主番号が変更されると「株主お買物優待券」の贈呈対象とならない場合がございます。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ国内店舗で使用可能な株主様限定の「株主お買物優待券」を贈呈いたします。(年1回)

- 100株以上 1,000株未満  
500円分の「株主お買物優待券」5枚(2,500円相当)
- 1,000株以上  
500円分の「株主お買物優待券」10枚(5,000円相当)

(3) 贈呈の時期

5月下旬に贈呈対象の株主様に発送いたします。

**株主優待制度についてのお問合せ**

プレナスのIRサイトをご覧ください。  
<https://www.plenus.co.jp/ir/yutai/>



## 株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページに掲載。) 但し、事故 その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-288-324

## 株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き(住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

### ■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

お取引のある証券会社等へお問合せください。

### ■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問合せください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎0120-288-324

### ※未払い配当金について

未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

お問合せ先

## 株式会社プレナス 会計本部 IR室

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号 日本橋弥生ビルディング

TEL.03-6892-0304

ホームページアドレス <https://www.plenus.co.jp/>